

モビリティ人材育成事業

～人手不足×都市人材・離島の雇用×航路～

応募様式A

一般社団法人 離島百貨店

事業の基礎情報

事業実施地域	島根県隠岐郡海士町、隠岐の島町、西ノ島町、知夫村
人材育成の対象	<1> 島内 海運交通事業者、観光事業者、ホテル事業者、隠岐諸島 4 島の役場職員 <2> 島外 大人の島留学生（大学生～20代((主に都心部))の人材）
人材育成の手法	<1> ミーティング <2> コース別セミナー・島インターン <1><2>どちらも専門家によるレクチャー・フォローアップ
人材育成の内容	<1> 課題の共有と解決具体的行動指標の作成、リデザインに必要な知識のレクチャによる地域側PM人材育成 <2> 必要なスキルを知識と経験を与え習得させ、CA人材・DX人材・人事人材・企画コーディネート人材を育成
想定育成人数	<1>10名<2>50名 合計60名

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

解決すべき地域課題：離島航路の人手不足 隠岐諸島では他地域と同様に、人手不足が進行している。隠岐諸島の生命線である船会社では、人手不足が深刻化し、運航便数削減に迫られるなど、危機的状況である。船は、人・モノ・文化を運ぶ離島の生命線である。船の人手不足がこのまま進むと、運行便数の減少→観光/生活利便性の減少→観光/生活者の減少→島内のあらゆる産業の縮小→...という抜け出すことが難しい負のスパイラルに入り、島の地域経営に大きな打撃となる。そこで、船会社を下記の通り地域ぐるみでリ・デザインすることを目指し、そのための人材獲得・人材育成を進めていく。この課題は、全国の離島が抱える問題であり、本事業を通じて、全国の課題解決モデルとし、横展開を目指していく。

（事業の概要）

<1> ①対象 海運交通/観光/ホテル事業者・4島役場 ②形式 ミーティング（34回） ③内容 課題の共有と解決具体的行動指標の作成やリデザインに必要な知識のレクチャによる地域側PM人材育成 ④習得 地域課題の共通認識・交通のり・デザインに関する知識・島外人材を巻き込み育てていくことの重要性認識・PMスキル <2> ①対象 島外から集客する「大人の島留学生」 ②形式 セミナー（4コース×3回）・島インターン（3ヶ月） ③内容 4コースに分け参加者を募集、各方面の専門家を講師として、都心部でセミナーを実施後、島で実践インターン。④習得 CA人材：ホスピタリティ力・サービス設計力/DX人材：データマネジメント力/人事人材：人事戦略設計力・人事に関する法律等の知識・人材マッチング力/企画コーディネート人材：地域経営力・新規事業企画力

モビリティ人材育成事業 ～人手不足×都市人材・離島の雇用×航路～

応募様式A

一般社団法人 離島百貨店

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

・島内向け：①PM人材2名の育成 ②交通・観光・宿泊の5事業者（隠岐汽船(株)/隠岐観光(株)/山陰観光開発(株)/(株)海士/(一社)離島百貨店）と隠岐4町村との連携体制が生まれ、将来のDMCの原型となり、本取組を継続していく。

・島外向け：

隠岐諸島の関係人口・人手が50名増加。本事業後にも、取組の担い手となる。

（内訳は未定だが、CA人材・DX人材・人事人材・企画コーディネート人材という隠岐の交通リデザインに必要な4つの人材が育てられる）。

(事業実施手順・スケジュール)

右図の通りの手順で実施する。

(補助事業実施後の予定)

本事業の関係者をメインとして地域DMCを立ち上げ、既存の特定地域づくり協同組合と連携し、地域の人事部として機能させる。地域の人事戦略策定～集客・育成・配属・配属後のフォローアップまでが、集客・資金等の面からも安定して行われる仕組みである。これにより、離島航路の人手不足を根本的・持続的に改善していく。当社は全国の離島の課題解決を目指して設立した団体であり、本事業を「公共交通のリデザインをはじめとする地域課題の解決スキルをもつ若者が、様々な地域を環流する」ための取り組みとして、また、DMC・特定地域づくり協同組合の活用方法のモデルとして横展開していくことを目指す。

事業全体の流れ

